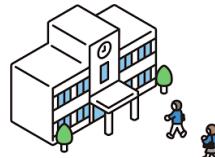


# 地域のかお シリーズ99



## 「故郷を活かした教育を」

宮崎市立佐土原小学校

校長 崎田一郎

4月に佐土原小学校へ赴任しました崎田一郎です。佐土原小学校は、佐土原藩の藩校「学習館」から始まり、今年で創立199年目を迎える歴史と伝統のある学校です。学校の周りには、佐土原城址や鶴松館、佐土原人形製作所、大光寺、商家資料館があり、少し離れたところには、巨田神社や佐野原聖地があります。

佐土原小学校では、佐土原だけに存在する貴重な文化、言い換えると「地域資源」を活用した教育に取り組んでいます。ここでは、その代表的なものを紹介させていただきます。

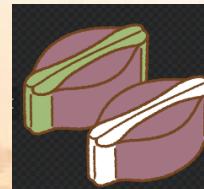
1つ目は、「くじら羊羹」です。くじら羊羹は、17世紀後半（佐土原藩がお家騒動で不安定な時期）5代藩主惟久の生母松寿院が幼いわが子に鯨のように力強く育ってほしいという願いをこめて作らせたのが始まりと言われています。本校では、4年生の社会科で製造・販売店訪問します。今年は、6月に3軒のお店を訪問し、製造方法やお店の歴史、作り手の思いを聞き取り調査しました。

2つ目は、「佐土原人形」です。佐土原人形は約400年の歴史を持ち、素朴で味わいのある人形です。本校では、「佐土原人形製作所ますや」さんのご協力のもと、3年生が絵付けの体験をしています。今年も12月に実施する予定です。

3つ目は、先哲を大切にすることです。本校では、6年生が修学旅行で南洲墓地訪問します。ここでは、西南戦争で亡くなった島津啓次郎（佐土原藩出身）さんのお墓にお参りします。



また、5年生は地元にある学習館初代教主御牧赤報のお墓へのお参りと清掃活動を行います。その他、佐土原町内の学校で伝えられてきた古月膳師の「いろは口説き」を運動会で披露します。この他にも巨田の池周辺で鴨を網でとる伝統的な越網猟も継承されています。網で鴨を捕る猟が残っているのは、佐土原と石川県の加賀市だけだそうです。このように佐土原には、歴史に培われたオンリーワンな文化が数多く残されています。これらの貴重な文化を子どもたちに伝えて、故郷に誇りを持ち、文化を大切にする心を育てていきたいと思います。



【くじら羊羹】



【佐土原人形】



【お墓参り】